

印刷管理オンプレミス

バージョン 2.8

管理者ガイド

2018 年 12 月 www.lexmark.com

目次

概要	4
Lexmark 管理コンソールを使用する	6
Lexmark Management Console にアクセスする	6
アプリケーションを設定する	
デバイス検索とポリシー更新のチャンクサイズの設定	
クリーンアップタスクを定期設定する	
複数ドメインのサポートを設定する	
Print Management Console を使用する	12
Print Management Console にアクセスする	
Print Management Console を設定する	
Print Management Console 機能を使用する	14
ソリューションのテスト	
レポートの管理と生成	23
Lexmark 管理コンソールを使用する	23
Print Management Console を使用する	24
トラブルシューティング	25
Web ポータルにログインできない	25
ユーザーが見つからない	25
ファームウェアエラー< 9yy.xx >	25
ホーム画面の見つからない Bean に関するアプリケーションエラー	25
プロファイルサーバーが応答しない	25
LMC を使用して新しいデバイスを追加できない	26
何回かポリシー更新を試した後でも「ポリシー外」というエラーメッセージが表示される	26
プリンタにバッジリーダーをインストールしようとすると「サポートされていないデバイス」とい うエラーメッセージが表示される	26
バッジを読み取ろうとすると「バッジデータを読み取れません」というエラーメッセージが表 示される	26
ユーザーが送信した印刷ジョブが印刷キューに表示されない	
バッジを読み取ろうとするとエラーが発生する	
ページ数が正しくない	
付 認	29

付録	45
索引	46

概要 4

概要

LexmarkTM 印刷管理オンプレミスソリューションを使用して、中央の印刷キューからドキュメントを印刷します。

コンピュータ、モバイルデバイス、Web から、または E メールでサーバーにファイルを送信すると、印刷されるまでサーバー上にファイルが保持されます。指定した時間内にジョブが印刷されなかった場合、そのジョブは自動的に削除されます。

このソリューションでは、以下の機能をサポートします。

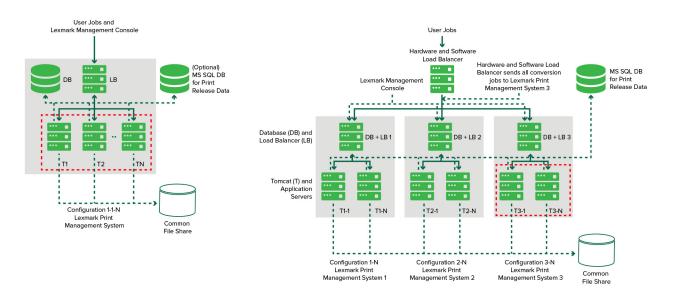
- プリンタの標準機能を使用するとき、ユーザーに認証を要求する。これらの機能には、コピー、FAX 送信、Eメール送信、スキャンして FTP またはネットワークに送信、などが含まれます。
- ジョブを別のユーザー(「代理人」と呼ばれる)に印刷させる。
- バッジ、カード、PIN、またはユーザー名とパスワードを使用して認証する。
- ユーザーの数量割当と使用状況を追跡する。
- AirPrint を使用して印刷ジョブを送信する。

Lexmark 印刷管理オンプレミスでは、以下の方法で印刷ジョブを送信することができます。

- Google Chrome[™] ブラウザ
- モバイルデバイス
- Eメール
- Web ポータル

このソリューションでは、次の操作を実行することもできます。

- USB ポートを使用してワークステーションに接続されているプリンタからジョブを追跡します。詳細については、 『Local Printer Management Agent Print Tracker Component User's Guide(ローカルプリンタ管理エージェント印刷トラッカーコンポーネントユーザーズガイド)』を参照してください。
- Active Directory またはクラウドストレージを使用する代わりに、LPM ハイブリッドプリントリリースアプリケーションを使用して、印刷ジョブがあるワークステーションを検索します。詳細については、『Lexmark Print Management On-Premise Configuration Guide (Lexmark 印刷管理オンプレミス設定ガイド)』の付録 H を参照してください。サーバーレスプリントリリースの詳細については、『Lexmark Print Management Serverless Administrator's Guide (Lexmark 印刷管理サーバーレス管理者ガイド)』を参照してください。



このソリューションを使用して印刷する方法の詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

携帯デバイスから印刷する方法の詳細については、『Lexmark モバイル印刷ユーザーズガイド』を参照してください。 サポートされているプリンタおよびそのファームウェアレベルのサポートのリストについては、『プリントリリースデバイスサポートのホワイトペーパー』を参照してください。

本書では、ソリューションの設定とトラブルシューティングを行う方法を説明します。

Lexmark 管理コンソールを使用する

Lexmark Management Console にアクセスする

開始する前に、次の点を確認してください。

- Lexmark Document Distributor(LDD)バージョン 4.0 以前の場合、Adobe® Flash® Player バージョン 10 以降を使用していること。お使いの Web ブラウザで ActiveX® コントロールの実行が許可されない場合は、Adobeの Web サイトにアクセスしてプラグインを手動でアップグレードしてください。
- Web ブラウザのクッキーが有効になっていること。
- 1 Web ブラウザを開き、次のいずれかの URL を入力します。
 - http: //ホスト名: 9780/1mc
 - https://hostname/lmc

ホスト名は、サーバーのホスト名または IP アドレスです。

2 管理者としてログインします。

メモ:

- デフォルトのユーザー名およびパスワードは、admin です。
- Lexmark 管理コンソール が LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、LDAP ユーザー名 およびパスワードを使用します。

サーバーを初めて起動する場合は、すべてのサービスが開始されるまで数分かかる場合があります。システム起動後すぐに Lexmark 管理コンソールにアクセスできない場合は、数分たってから再度実行してください。

アプリケーションを設定する

サーバーのステータスを変更する

印刷管理では、ジョブをロードバランサからサーバーに送信するかどうかを管理者がコントロールできます。

- 1 Lexmark 管理コンソールで、[システム]タブをクリックします。
- 2 サーバーを選択します。
- **3 [オンラインに設定]**または[オフラインに設定]をクリックします。

火モ:

- サーバーをオンラインに設定する前に、お使いのプリンタに十分なライセンスがあることを確認します。ライセンス購入の詳細については、テクニカルプログラムマネージャまでお問い合わせください。
- サーバーをオフラインに設定しても、管理者はサーバーに接続した状態に保たれます。

お使いの環境に合わせてアプリケーション設定を構成する

メモ: 設定を変更する前に、Lexmark のソリューション開発・統合部門の担当者に、変更内容が適切で必要かどうかをお問い合わせください。

ソリューションの設定は、Lexmark 統合担当者が、最初のインストール時にお使いの環境におけるニーズに合わせて構成します。ユーザーからのフィードバックやお使いの環境の構成変更に伴い設定を修正する必要がある場合は、以下を実行します。

- 1 Lexmark 管理コンソールで、[ソリューション]タブをクリックします。
- 2 [ソリューション] セクションで、[PrintReleasev2]を選択します。
- **3** [タスク]セクションで[**設定**]を選択し、設定を変更します。
- 4 [適用]をクリックします。

デバイスグループにプリンタを追加する

ソリューションにデバイスを追加する前に、Lexmark テクニカルプログラムマネージャに問い合わせて必要なライセンスを保持していることを確認してください。

既存のデバイスグループにデバイスを追加して、グループ内のその他のすべてのデバイスと同じローカル設定にします。また、グループを作成すると、すべてのデバイスを(場所別などに)整理したり、ローカル設定で、[すべてを印刷]などの設定を変更したりできます。

- 1 Lexmark 管理コンソールで、[デバイスグループ]タブをクリックします。
- **2** [デバイスグループ]セクションから、+ をクリックして、一意の名前を入力します。

メモ: 既存のグループを使用する場合は、お使いのデバイスの名前を選択します。

- **3** [タスク]セクションで**[検出プロファイル]**を選択します。
- 4 [アドレス]フィールドにプリンタの IP アドレスを入力し、[追加]をクリックします。

メモ:

- IP アドレスは一度に 1 つだけ追加できます。
- 追加したプリンタで情報が設定されるまでフィールドには何も入力しないでください。
- 5 [検索]をクリックします。
- 6 [検出]セクションで、[新しいデバイスのみを検出]を選択して、[検出]をクリックします。
- 7 [完了]をクリックします。

メモ: プリンタが正しく追加されたことを確認するには、[タスク]セクションで[概要]または[検出されたデバイス]をクリックします。

ホーム画面を設定する

新しいプリンタがソリューションに追加されたときは、以下の場合にホーム画面の設定が必要になることがあります。

- プリンタを新しいデバイスグループに追加する場合。
- プリンタのモデルが以前に設定したプリンタとは異なる場合。

デバイスクラスが異なると機能も異なるため、デバイスクラスごとにカスタムホーム画面を設定する必要があります。 各デバイスクラスでサポートされているプリンタのリストについては、『プリントリリースデバイスサポートのホワイトペーパー』を参照してください。

- 1 Lexmark 管理コンソールで、[デバイスグループ]タブをクリックします。
- 2 「デバイスグループ] セクションで、デバイスグループを選択します。

- 3 [タスク]セクションで、[ホーム画面]をクリックし、設定するプリンタの種類を選択します。
- 4 [このホーム画面をデバイスグループポリシーの一部として使用する]を選択します。
- 5 [レイアウト]メニューで、ホーム画面に表示するボタン数を選択します。
- 6 それぞれの機能に、ボタン、アクション、プロファイルを割り当てます。

機能	対応	プロファイル
コピー	コピー + プロファイル	CopyTrack
FAX	FAX + プロファイル	次のいずれかを使用します。 • FaxTrackAnalog • FaxServerTrack
Eメール	E メール + プロファイル	EmailTrack
FTP	FTP + プロファイル	なし
印刷の管理	単一プロファイル	プリントリリース
ネットワークへのスキャン	単一プロファイル	ScantoNetwork

メモ: 割り当てられていないボタンはホーム画面に表示されません。

7 [適用]をクリックします。

メモ: (デバイスグループに関するホーム画面のカスタマイズ ⇒ 『Lexmark Document Distributor 管理者ガイド』)

プリンタにアプリケーションを展開する

開始する前に、プリンタにアプリケーションを展開します。また、サポート対象のすべてのアプリケーションの展開とホーム画面の設定を行います。アプリケーションの展開の詳細については、アプリケーション付属の『Deployment White Paper(展開に関するホワイトペーパー)』を参照してください。

- 1 Lexmark 管理コンソールで、[デバイスグループ]タブをクリックします。
- 2 [デバイスグループ]セクションで、[プリントリリース]を選択します。
- 3 [タスク] セクションで[eSF 設定]を選択し、次の順に展開を設定します。
 - deviceusage
 - カードリーダードライバ: keyboardreader、omnikey5427ckdriver、ominikeydriver
 - advancedprompt
 - IdleScreen
 - badgeauth または cardAuth
 - mobileAuth

メモ:

- IdleScreen は、Lexmark 印刷管理 On-Premises バージョン 2.5 以前で使用できます。
- mobileAuth は、Lexmark 印刷管理 On-Premises バージョン 2.6 以前で使用できます。
- 対応している内蔵ソリューション フレームワーク(eSF)レベルと推奨される展開順序は、デフォルトで設定されています。

- 4 [eSF アプリケーション] セクションで、以下から 1 つ以上実行します。
 - 展開順序を変更するには、上下矢印ボタンをクリックします。
 - ポリシー更新からアプリケーションを除外するには、[展開先]セクションからこのアプリケーションに対応する チェックボックスをオフにします。
- 5 [設定を保存]をクリックします。
- 6 [タスク]セクションで[ポリシー更新] > [ポリシーを更新]の順にクリックします。

メモ: 展開が完了するまでは 1 ~ 2 分かかります。ポリシー更新のパフォーマンスを向上させる方法の詳細については、「デバイス検索とポリシー更新のチャンクサイズの設定」、9 ページを参照してください。

7 [完了]をクリックします。

UCF(Universal Configuration File)を設定する

- 1 Lexmark 管理コンソールで、[ソリューション]タブをクリックします。
- 2 [ソリューション] セクションで、[PrintReleasev2]を選択します。
- **3** [タスク]セクションで、[セキュリティ設定ファイル]を選択し、設定を構成します。
 - [BadgeAuth]-e-Task2 デバイスと互換性がある、LDAP セキュリティビルディングブロックを作成します。
 - [BadgeAuth2]-e-Task2+ 以降のデバイスと互換性がある点以外は、BadgeAuthと同様です。
 - [CardAuth e5] カードリーダーを使用する e-Task5 へのセキュアアクセス。
 - [MobileAuth e5] —モバイルデバイスを使用する e-Task5 へのセキュアアクセス。

メモ:

- MobileAuth e5 は、Lexmark 印刷管理 On-Premises バージョン 2.6 以前で使用できます。
- ポリシー更新から eSF アプリケーションを除外するには、[展開先]セクションからこのアプリケーションに対応するチェックボックスをオフにします。
- 4 [適用]をクリックします。

デバイス検索とポリシー更新のチャンクサイズの設定

3つ以上のサーバーを使用する場合、チャンクサイズを縮小するとデバイス検索とポリシー更新の速度が上がります。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[サービス]タブをクリックします。
- 2 [サービス]セクションで[全般]を選択します。
- 3 「タスク]セクションで「パラメータ]を選択します。
- 4 [ChunkSize]フィールドに新しい値を入力します。

メモ: 3 つ以上のサーバーを使用する場合、値は 2 程度にするのが適切です。

5 [適用]をクリックします。

クリーンアップタスクを定期設定する

Lexmark 印刷管理は、月または年単位で合計またはカラーのユーザーの数量割当を設定できます。ユーザーまたはグループによる機能アクセスを制限し、一時的なバッジを管理することもできます。各機能に対して実行するタスクをスケジュールし、定期的にデータを更新してクリーンアップします。

数量制限を使用している場合、前年からデータを自動的に削除するには数量制限をリセットし、ユーザーが更新された数量制限を使用できるようにします。ビジネスプロセスに最適な特定の日に実行されるよう、このタスクを年 1 回定期設定します。たとえば、多くの学校では、各学年の年度初めにこのタスクを実行しています。

機能アクセスを使用している場合、定期的にグループ情報を更新してユーザーロールに付与されている機能にアクセスできるようにします。環境内のグループのユーザーが移動する頻度に応じて、このタスクを実行する頻度を設定します。

一時的なバッジで、バッジに関連付けられたユーザー情報がリセットされていることを確認します。バッジが新しいユーザーに割り当てられている場合、新しいユーザーは再登録される必要があり、以前のユーザーのジョブにはアクセスできません。一時的なバッジを割り当てる時間に応じて、このタスクを実行する頻度を設定します。

- 1 Lexmark 管理コンソールで、「システム]タブをクリックします。
- 2 [システム]セクションで、[定期設定]を選択します。
- 3 「追加] > 「スクリプト] > 「次へ] > 「なし] > 「次へ]の順にクリックします。
- 4 タスクに関連付けられているソリューションとスクリプトを選択します。
 - ResetFAUserGroup グループの機能アクセス制限がリセットされます。
 - PrintDelete しばらくすると印刷ジョブが自動的に削除されます。
 - GenerateCSV しばらくするとレポートが生成されます。
 - TempBadgeDelete 一時的なバッジデータが削除されます。
 - ResetQuota ユーザーの数量割当が年 1 回リセットされます。
 - ResetUserGroup 現在のグループに対してデータベースですでに定義済みのユーザーを更新します。
- **5 [次へ**]をクリックします。
- 6 [頻度を選択]ダイアログで、クリーンアップの開始日時と頻度を指定します。
- 7 [終了]をクリックします。

複数ドメインのサポートを設定する

複数ドメインのサポートを使用すると、デバイスは複数のドメイン設定を受け入れることができるため、別のドメインにいる別のユーザーがこのデバイスを使用できるようになります。

- 1 Lexmark 管理コンソールで複数ドメインのサポートを有効にします。
 - a Lexmark 管理コンソールで、[ソリューション]タブをクリックします。
 - **b** [ソリューション]セクションで、[PrintReleasev2]をクリックします。
 - c [タスク]セクションで、[設定]をクリックします。
 - **d** [LDAP 複数ドメインのサポート]メニューの[設定(PrintReleasev2)]セクションから、[**有効**]を選択します。
 - e [適用]をクリックします。

メモ: モバイル印刷がインストールされている場合は、[mobileprint]の LDAP 複数ドメインサポートも有効にします。

- **2** 以下のファイルを設定します。
 - idm-production-config.properties
 - Idap.properties

メモ: 標準設定のインストールについては、以下の各ファイルを参照してください。C: \Program Files\Lexmark \Solutions\apps\idm\WEB-INF\classes、および C: \Program Files\Lexmark\Solutions\apps \printrelease\WEB-INF\classes 詳細については、『Lexmark Print Management Installation Guide (Lexmark 印刷管理インストールガイド)』を参照してください。

3 Windows® Services で、Lexmark ソリューションのアプリケーションサーバーを再起動します。

Print Management Console を使用する

Print Management Console 管理者ポータルを使用するには、管理者権限が必要です。

Print Management Console にアクセスする

メモ: Internet Explorer® を使用している場合は、バージョン 11 以降をご使用ください。

- 1 Web ブラウザを開き、次のいずれかの URL を入力します。
 - http: //ホスト名: 9780/printrelease/
 - https: //ホスト名/printrelease/index.html

ホスト名は、印刷管理サーバーのホスト名または IP アドレスです。

2 管理者としてログインします。

λ∓·

- デフォルトのユーザー名およびパスワードは、admin です。
- Print Management Console が LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、LDAP ユーザー 名およびパスワードを使用します。

Print Management Console を設定する

- 1 Print Management Console の右上隅にある 🌣 をクリックします。
- 2 以下のいずれかの手順を実行します。

Print Management Console へのログインを設定する

- a [ログイン]をクリックします。
- **b** [タイプ]メニューで、以下のいずれかを実行します。
 - Lexmark 管理コンソール認証を使用するには、[LMC ログイン]を選択します。
 - LDAP 認証を使用するには、[LDAP ログイン]を選択し、設定します。
- c [変更を保存する]をクリックします。

設定へのアクセスを制限する

- a [設定アクセス]をクリックします。
- **b** [認証]メニューで、以下のいずれかを実行します。
 - パスワードを使用するには、[パスワード]を選択してパスワードを入力します。
 - LDAP 資格証明を使用するには、[LDAP グループ]を選択してグループ名を入力します。

メモ: Print Management Console へのログインが LDAP ログインであることを確認します。詳細については、「Print Management Console へのログインを設定する」、12 ページ を参照してください。

c [変更を保存する]をクリックします。

その他の機能を表示する

初期設定では、ページに表示される機能は、[ダッシュボード]、[印刷キュー]、[代理人]、[バッジ]のみです。

- a [機能のオプション] > [設定]の順にクリックします。
- **b** 表示させる機能を選択します。

メモ: 各機能の詳細については、「Print Management Console 機能を使用する」、14 ページを参照してください。

c [変更を保存する]をクリックします。

Eメールレポートの管理

メモ:

- レポートは初期設定のダッシュボードにあります。
- 最大5つまでのレポートのみがサーバーに保存されます。
- レポートのサイズによって、配信時間が異なる場合があります。
- ダウンロードファイルは、ダッシュボードの各カードの名前から命名された CSV ファイルを含む .zip ファイル です。
- 2 年以上のデータなどのサイズの大きいデータでは、E メールレポート作成機能でエラーが発生する可能性があります。
- a [機能のオプション] > [Eメールレポート作成]の順にクリックし、次のいずれかを実行します。
 - Eメールレポートを送信するには、[Eメールレポート作成を有効化]を選択します。
 - Eメールレポート作成の頻度を指定するには、「レポート作成スケジュール」セクションを設定します。
 - Eメールレポートの送信者、受信者、初期設定の言語を指定するには、[Eメールの初期設定]セクションを設定します。
 - SMTP サーバーを設定するには、[Eメール設定]セクションを設定します。
 - Eメールレポートの保存場所を指定するには、[レポート保存場所]セクションを設定します。

メモ: 保存場所が別のサーバー上、または複数のサーバーを使用している企業環境内にある場合は、 読み取り/書き込みアクセスでレポートを共有します。

b [変更を保存する]をクリックします。

AirPrint 設定を管理する

- a [AirPrint]をクリックし、次のいずれかを実行します。
 - サーバーのステータスを変更するには[サーバーの状態]をクリックします。
 - サーバー設定を行うには、[**全般**]をクリックします。
 - 印刷設定を行うには、[印刷]または[用紙オプション]をクリックします。
 - DNS レコードを表示するには、[DNS レコード]をクリックします。
- **b** [変更を保存する]をクリックします。

LDAP 設定を管理する

- a 次のファイルを設定することで、サーバーを追加、編集、または削除します。
 - idm-production-config.properties
 - Idap.properties

メモ: 標準設定のインストールについては、以下の各ファイルを参照してください。C: \Program Files\Lexmark \Solutions\apps\idm\WEB-INF\classes、および C: \Program Files\Lexmark\Solutions\apps \printrelease\WEB-INF\classes。詳細については、『Lexmark Print Management Installation Guide (Lexmark 印刷管理インストールガイド)』を参照してください。

b Windows サービスで、Lexmark ソリューションのアプリケーションサーバーを再起動します。

Print Management Console 機能を使用する

標準設定では、ページに表示される機能は、「ダッシュボード」、「印刷キュー」、「代理人」、「バッジ」のみです。その他の機能を表示するには、「その他の機能を表示する」、13 ページ を参照してください。

ダッシュボード

メモ: Lexmark レポートアグリゲータサービスで構成された設定によりデータ更新の頻度が決定されます。詳細については、『Lexmark 印刷管理オンプレミス設定ガイド』を参照してください。

- **1** Print Management Console で、[ダッシュボード]をクリックします。
- 2 以下のいずれかの手順を実行します。

ダッシュボードの作成

- a [アクション] > [ダッシュボード] > [作成]の順にクリックします。
- **b** 一意の名前を入力してください。

メモ: ダッシュボード名は大文字と小文字が区別されます。

c [作成]をクリックします。

メモ: 既存のダッシュボードをコピーまたは削除することもできます。

カードの作成

- a ダッシュボードを選択し、[アクション] > [カードの追加]の順にクリックします。
- **b** 一意の名前を入力してください。
- c レポートの種類を選択してから、設定を構成します。

メモ: (レポートの種類の詳細 ⇒ 「レポートを理解する」、15 ページ)

d [カードの追加] > [完了]に順にクリックします。

火モ:

- 最上位のユーザーレポートには、ジョブをリリースしたユーザーの ID が表示されます。
- 環境影響の計算は、Environmental Paper Network の Paper Calculator を使用しています。詳細については、www.papercalculator.org を参照してください。

カードレイアウトの変更

- a ダッシュボードを選択して、[アクション] > [表示を変更]の順にクリックします。
- b 列数を選択します。

ダッシュボードの名前変更

- a ダッシュボードを選択して、[アクション] > [ダッシュボード] > [名前の変更]の順にクリックします。
- **b** 一意の名前を入力してください。

メモ: ダッシュボード名は大文字と小文字が区別されます。

c [名前の変更]をクリックします。

メモ: [編集]ページから、ダッシュボード名を変更することもできます。

デフォルトのダッシュボードの設定

デフォルトのダッシュボードには、ダッシュボードのリストにある名前の横に ★ があります。 ダッシュボードを選択し、[**アクション**] > [**ダッシュボード**] > [**デフォルトに設定**]の順にクリックします。

Eメールレポートの管理

[アクション] > [ダッシュボード] > [レポート作成の設定]をクリックします。

メモ: 詳細については、「E メールレポートの管理」、13 ページ を参照してください。

レポートを理解する

レポートの種類	レポート項目
カラーとモノクロの比較 -カラーとモノクロの印刷ジョブの総数を表示します。	カード名グラフの種類
両面印刷と片面印刷の比較 ─両面印刷および片面印刷ジョブの総数を表示します。	◆ 期間
ジョブの種類 −種類ごとの送信ジョブの総数を表示します。	
中刷済みと削除済みの比較─送信済みページ数に基づく、印刷済みページ数と削除済みページ数を表示します。削除済みページとは、期限切れ、または手動で削除されたページのことです。	
環境への影響-節約の可能性や環境への影響など、プリンタの使用状況に関する分析を表示します。	 カード名 長さの単位―レポートを表示するときの単位として、ヤードポンド法またはメートル法のいずれかを選択できます。 期間
印刷済みページ 印刷されたジョブの総数を表示します。	 カード名 グラフの種類 期間 間隔―日ごと、週ごと、月ごと、または年ごとのレポートデータを表示できます。 メモ: [自動]を選択すると、週ごとのデータが表示されます。
ジョブの種類別上位プリンタ ―ジョブの種類ごとに使用頻度の高いプリンタを表示します。グラフは、ページカウントに基づいてソートされます。	カード名ジョブの種類プリンタ台数期間

レポートの種類	レポート項目
ジョブの種類別上位ユーザー-ジョブの種類ごとに使用頻度の高いユー	
ザーを表示します。グラフは、ページカウントに基づいてソートされます。	● ジョブの種類
	ユーザー数
	● 期間

印刷キューと再印刷キュー

印刷キュー機能を使用して、送信済みのジョブのうち、印刷または削除されていないすべてのジョブを確認します。 再印刷キュー機能を使用して、送信済みのジョブのうち、少なくとも 1 回は印刷されたもののまだ削除されていない すべての印刷ジョブを確認します。

- 1 構成設定により、以下のいずれかを Print Management Console で実行します。
 - [印刷キュー]または[再印刷キュー]をクリックします。
 - [印刷ジョブ] > [印刷キュー]または[再印刷キュー]の順にクリックします。
- **2** 印刷ジョブを管理します。
 - [フィルタ]フィールドにキーワードを入力してリストをフィルタリングし、 をクリックします。 メモ: 特殊文字や記号を使用しないでください。
 - ■ をクリックして列の表示/非表示を切り替えます。
 - **C** をクリックしてリストを更新します。
 - 印刷ジョブの委任、印刷、または削除を行います。

メモ: グループに委任する場合、印刷管理コンソールユーザーポータルにはグループ ID のみが表示されます。

代理人

ユーザーやグループ代理人を表示および管理します。

代理人とは、別のユーザーのジョブを印刷することが許可されているユーザーです。たとえば、管理アシスタントはエグゼクティブが送信した印刷ジョブを印刷できます。

メモ:

- 任意の個人を代理人として、または複数のユーザーの代理人グループの一員として指定することができます。 ただし、各ユーザーに指定できるのはそれぞれ 1 人の個人代理人または 1 つの代理人グループのみです。
- グループに委任する場合、印刷管理コンソールユーザーポータルにはグループ ID のみが表示されます。
- **1** Print Management Console で、[代理人]をクリックします。
- 2 代理人を管理します。
 - [フィルタ]フィールドにキーワードを入力してリストをフィルタリングし、 **ア** をクリックします。 **メモ**: 特殊文字や記号を使用しないでください。
 - でをクリックしてリストを更新します。
 - ユーザーまたはグループの追加、編集、削除を行います。

メモ:

- グループには、一度に1人しか追加できません。
- 複数ドメインのサポートが有効な場合は、user@domain.com 形式を使用します。詳細については、「複数ドメインのサポートを設定する」、10 ページを参照してください。
- [既存の印刷ジョブの委任を更新]が選択されていない場合は、代理人が印刷できるのは以後のジョブだけです。

暗証番号

ユーザーアカウントにプリントリリース PIN を追加してセキュリティを向上させます。プリントリリース PIN を使用しない場合、カード認証 PIN が使用されます。カード認証の詳細については、『カード認証管理者ガイド』を参照してください。

- 1 構成設定により、以下のいずれかを Print Management Console で実行します。
 - [PIN]をクリックします。
 - [セキュリティ] > [PIN]の順にクリックします。
- **2** PIN を管理します。
 - [フィルタ]フィールドにキーワードを入力してリストをフィルタリングし、 をクリックします。
 - メモ: 特殊文字や記号を使用しないでください。
 - できたいます。PIN の追加、編集、削除を行います。
 - メモ: [PIN を生成]をクリックすると、ランダムな PIN を生成できます。
 - PIN をインポートまたはエクスポートします。

メモ: インポートするときは、pin, userid 形式の CSV ファイルを使用します。

PIN を設定する

- 1 Print Management Console の右上隅にある 🌄 をクリックします。
- **2 [機能のオプション] > [PIN]**の順にクリックします。
- **3** 設定します。

メモ: 一意の PIN が有効な場合、Print Management Console でプリントリリース PIN が重複していないことを確認します。詳細については、<u>「暗証番号」、17 ページ</u>を参照してください。

4 [変更を保存]をクリックします。

バッジ

ソリューションに登録するバッジを管理します。

メモ: ユーザーが初めてソリューションを使用するときにバッジを登録できるよう、ソリューションを設定しておきます。 詳細については、『カード認証管理者ガイド』を参照してください。

- 1 構成設定により、以下のいずれかを Print Management Console で実行します。
 - [バッジ]をクリックします。
 - [セキュリティ] > [バッジ]の順にクリックします。
- 2 バッジを管理します。
 - [フィルタ]フィールドにキーワードを入力してリストをフィルタリングし、 **ア** をクリックします。 **メモ**: 特殊文字や記号を使用しないでください。
 - ・ をクリックして列の表示/非表示を切り替えます。
 - **C** をクリックしてリストを更新します。
 - バッジの追加、編集、削除を行います。

メモ:

- ユーザーが印刷キューから印刷ジョブを取得できるよう、バッジ ID がオペレーティングシステム(OS)の ユーザー ID に割り当てられていることを確認します。
- バッジ ID は一度に 1 つのみ追加できます。
- 任意のユーザーに対して一時的なバッジ ID を作成することもできます。
- バッジをインポートまたはエクスポートします。

メモ: インポートするときは、badgeid, userid 形式の CSV ファイルを使用します。

バッジ列を設定する

- 1 Print Management Console の右上隅にある 🌣 をクリックします。
- 2 [機能のオプション] > [バッジ]の順にクリックします。
- 3 以下のように構成します。
 - 登録済みデバイス-バッジが登録されたプリンタ
 - **最後に使用されたデバイス**-バッジが最後に使用されたプリンタ
- 4 [変更を保存する]をクリックします。

機能アクセス

プリンタ機能へのユーザーやグループのアクセスを管理します。

- 1 構成設定により、以下のいずれかを Print Management Console で実行します。
 - [機能アクセス]をクリックします。
 - [セキュリティ] > [機能アクセス]の順にクリックします。

- 2 プリンタ機能へのアクセスを管理します。
 - [フィルタ]フィールドにキーワードを入力してリストをフィルタリングし、 ア をクリックします。

メモ: 特殊文字や記号を使用しないでください。

- でをクリックしてリストを更新します。
- アクセスの追加、編集、削除を行います。
- プリンタ機能への、通常使うアクセスを設定します。
 - a 構成設定に応じて、次の手順のいずれかを実行します。
 - [グループ] > [初期設定]の順にクリックします。
 - [ユーザー] > [初期設定]の順にクリックします。
 - **b** 次のいずれかを選択します。
 - コピーを許可
 - カラーコピーを許可
 - カラーデバイスでモノクロコピーのみを許可
 - Eメールを許可
 - FAX を許可
 - ネットワークへスキャンを許可
 - 印刷を許可
 - カラー印刷を許可
 - カラーデバイスでモノクロ印刷のみを許可

プリンタ機能へのグループアクセスを許可する

- 1 Print Management Console の右上隅にある 🌣 をクリックします。
- 2 [機能のオプション] > [機能アクセス]の順にクリックします。
- 3 [グループ]メニューで、[はい]を選択します。
- 4 [変更を保存する]をクリックします。

数量制限

- ユーザーおよびグループの印刷数量制限の表示と管理を行います。
- **1** Print Management Console で、[数量制限]をクリックします。
- 2 数量制限を管理します。
 - 数量制限の種類を選択し、[フィルタ]フィールドにキーワードを入力し、
 ア をクリックしてリストをフィルタリングします。

メモ: 特殊文字や記号を使用しないでください。

- ■ をクリックして列の表示/非表示を切り替えます。
- **C** をクリックしてリストを更新します。
- 数量制限の追加、編集、削除を行います。

メモ:

- Active Directory グループに関連付けられているグループを®手動で追加します。グループ名は Active Directory グループの名前と一致させる必要があります。
- ユーザーの数量割当は Active Directory グループに基づいて定義されます。
- 個々のユーザーの数量割当は、グループの数量割当より優先されます。

数量制限を設定する

ユーザーおよびグループの数量制限は月単位または年単位で管理します。この設定に基づき、ユーザーは毎月または毎年の初日に新しいページ割り当てを受け取ります。前のタイムフレームの未使用ページは繰り越しされません。

- 1 Print Management Console の右上隅にある 🌣 をクリックします。
- 2 [機能のオプション] > [数量制限]の順にクリックします。
- 3 以下のように構成します。
 - タイプ-実行中の数量制限が更新されたときに選択します
 - **グループ**-グループに数量制限を適用するかどうかを選択します
 - 編集を許可
- 4 「変更を保存する]をクリックします。

ポリシー

印刷時にユーザーまたはグループの制限を管理します。印刷ポリシーとは、ジョブを印刷する際に有効になる、事前 定義された設定です。印刷ポリシーは、ユーザーが設定した印刷設定より優先されます。

メモ: ジョブ送信時に印刷ポリシーを適用するには、Lexmark 印刷管理クライアントがユーザーのコンピュータにインストールされていることが必要です。詳細については、Lexmark の担当者に問い合わせてください。

- **1** Print Management Console で、[ポリシー]をクリックします。
- 2 ポリシーを管理します。
 - [フィルタ]フィールドにポリシー名などのキーワードを入力してリストをフィルタリングし、 をクリックします。 メモ: 特殊文字や記号を使用しないでください。
 - で をクリックしてリストを更新します。
 - ポリシーを追加、編集、コピー、または削除します。

メモ: (⇒『Lexmark 印刷管理設定ガイド』)

- ユーザーまたはグループの追加、編集、削除を行います。
- ユーザーまたはグループにポリシーを割り当てます。

グループポリシーを許可する

- 1 Print Management Console の右上隅にある 🌄 をクリックします。
- 2 [機能のオプション] > [ポリシー]の順にクリックします。
- 3 [グループ]メニューで、[はい]を選択します。
- 4 「変更を保存する]をクリックします。

代替の場所

プリンタ上のジョブを表示し、そのジョブを別のプリンタで印刷します。

- 1 構成設定により、以下のいずれかを Print Management Console で実行します。
 - [代替の場所]をクリックします。
 - 「デバイスの機能] > 「代替の場所]の順にクリックします。
- 2 プリンタを管理します。
 - [フィルタ]フィールドにキーワードを入力してリストをフィルタリングし、 **ア** をクリックします。 **メモ**: 特殊文字や記号を使用しないでください。
 - でをクリックしてリストを更新します。
 - プリンタの追加、編集、削除を行います。
 - リリース IP-印刷ジョブが送信されるプリンタの IP アドレス
 - 代替 IP-印刷ジョブが印刷されるプリンタの IP アドレス
 - 代替ディスプレイ名
 - 代替モデル名
 - 代替デバイスはカラーです

印刷監視デバイス

ユーザーの印刷ジョブのうち、プリンタの印刷キューに送信されないジョブを監視します。

ジョブは引き続き、共有の Windows オペレーティングシステム(OS)の印刷キューから印刷できますが、印刷前に保留されることはなく、そのままプリンタに送られます。印刷ジョブデータを含む情報を保存するには、印刷監視デバイス機能を使用して情報を追加します。情報が追加されない場合は、モデルとデバイスのタイプが使用状況データに保存されません。

- 1 構成設定により、以下のいずれかを Print Management Console で実行します。
 - [印刷監視デバイス]をクリックします。
 - [デバイスの機能] > [デバイスの印刷監視]の順にクリックします。
- 2 サイトを管理します。

 - できたいのでは、をクリックしてリストを更新します。
 - サイトの追加、編集、削除を行います。
 - サイト-印刷ジョブが印刷される場所
 - アドレス-印刷ジョブが印刷されるプリンタの IP アドレス
 - **機種名**-プリンタの機種番号、またはプリンタのフレンドリ名などのカスタムテキスト
 - モデルタイプ
 - コメント

プリンタのニックネーム

プリンタのニックネームは、Eメールウォッチャーで使用されるフレンドリな名前です。Eメールウォッチャーは、Eメールサーバーを監視してジョブを取得するときにこれを使用します。

- 1 構成設定により、以下のいずれかを Print Management Console で実行します。
 - [プリンタのニックネーム]をクリックします。
 - [デバイスの機能] > [プリンタのニックネーム]の順にクリックします。
- 2 プリンタを管理します。
 - [フィルタ]フィールドにキーワードを入力してリストをフィルタリングし、 **ア** をクリックします。 **メモ**: 特殊文字や記号を使用しないでください。
 - でかりックしてリストを更新します。
 - プリンタの追加、編集、削除を行います。

ソリューションのテスト

設定を変更したり、デバイスグループにデバイスを追加した後は、印刷キューが適切に動作するように、クライアントワークステーションを設定する必要があります。

1 プリンタウィザードを開きます。

Windows 10 オペレーティングシステムの場合

- a 操作パネルから[デバイスとプリンタ]ウィンドウに移動します。
- **b** [プリンタの追加]をクリックします。

Windows 8 オペレーティングシステムの場合

検索チャームから、次のメニューを選択します。

[アプリ]リスト > [ファイル名を指定して実行] > 「プリンタ」と入力 > [OK] > [デバイスとプリンタの追加]

Windows 7 および Vista® オペレーティングシステム

- a 🥙 > [実行]をクリックします。
- **b** [検索の開始]ダイアログボックスで、「プリンタ」と入力します。
- c [プリンタの追加] > [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します]の順にクリックします。
- **2** ネットワークプリンタに接続するためのオプションを選択し、プリンタの格納先フォルダを入力します。
- 3 通常使うプリンタに設定し、ページ印刷を可能にするオプションを選択します(要求された場合)。
- 4 プリンタのホーム画面で、[プリントリリース]をタッチします。
- **5** テストページを含む印刷ジョブを選択し、[**選択したものを印刷**]をタッチします。

レポートの管理と生成 23

レポートの管理と生成

Lexmark 管理コンソールを使用する

レポートを生成する

データ分析のために、使用状況追跡用データベースからデータを CSV ファイルまたは PDF ファイルにエクスポートします。

- 1 Lexmark 管理コンソールで、[システム]タブをクリックします。
- 2 [システム]セクションで、[レポート]を選択します。
- 3 [使用可能なレポート]セクションで、[PR フルデータエクスポート]を選択し、レポート期間を指定します。
- 4 出力形式を選択します。
- 5 次のいずれかを実行します。

レポートを保存する

- a [保存先]を選択して、テキストフィールドの横の[...]をクリックします。
- **b** フォルダパスを指定します。
- c フォルダがパスワードで保護されている場合は、必要な資格情報を入力します。
- d [OK]をクリックします。

Eメールでレポートを送信する

- a [Eメール送信先]を選択して、テキストフィールドの横の[...]をクリックします。
- **b** Eメールの設定を行います。
- c [OK]をクリックします。
- 6 必要に応じて詳細パラメータを追加します。
- 7 [レポートを実行]をクリックします。

カスタムレポートを追加する

- 1 [使用可能なレポート]セクションで、[+]をクリックします。
- 2 一意のレポート名を入力して、設定を行います。
- 3 [保存]をクリックします。

レポートを定期設定する

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[システム]タブをクリックします。
- 2 [システム]セクションで、[定期設定]を選択して[追加]をクリックします。
 - メモ: 既存の定期設定を変更する場合は、定期設定済みタスクを選択し、[編集]をクリックします。
- **3** [タスクを選択]ダイアログで、[レポート]を選択して[次へ]をクリックします。

レポートの管理と生成 24

4 [使用可能なレポート]セクションで、[PR - フルデータエクスポート]を選択し、レポート期間を指定します。

- 5 生成する出力形式を選択します。
 - **[PDF]** PDF 形式でレポートが生成されます。
 - **[CSV]** Excel 形式でレポートが生成されます。
- 6 エクスポートしたファイルを保存する場合は、以下を実行します。
 - a [保存先]チェックボックスをオンにし、[保存先]フィールドの横のボタンをクリックします。
 - b ファイルの保存先フォルダのパスを指定し、[OK]をクリックします。
- 7 レポートを E メールアドレスに送信する場合は、以下を実行します。
 - a [Eメール送信先]チェックボックスをオンにし、[Eメール送信先]フィールドの横のボタンをクリックします。
 - b Eメールの受信者やその他の情報を指定し、[OK]をクリックします。
- 8 [次へ]をクリックします。
- 9 [頻度を選択]ダイアログで、レポート生成の開始日時と頻度を指定し、[完了]をクリックします。

Print Management Console を使用する

レポートを生成する

- **1** Print Management Console で、[ダッシュボード]をクリックします。
- 2 ダッシュボードを選択して、カードを選択します。

レポートをエクスポートする

1 Print Management Console で、レポートを生成します。



-- 、[**エクスポート**]の順にクリックします。

トラブルシューティング

Web ポータルにログインできない

次の手順を1つ以上実行します。

ユーザー資格情報が正しいことを確認する

印刷管理サーバーが LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、LDAP ユーザー名およびパスワードを使用します。

印刷管理サーバーが複数ドメインをサポートするように設定されている場合は、ドメインを選択してから、ユーザー名とパスワードを入力します。

LDAP 管理者に問い合わせてください。

ユーザーが見つからない

Print Management Console でプリントリリース PIN が重複していないことを確認します。

詳細については、「暗証番号」、17ページを参照してください。

ファームウェアエラー<9yy.xx>

デバイスのファームウェアは更新する必要があります。

ファームウェア更新の詳細については、Lexmark ヘルプデスク にお問い合わせください。

ホーム画面の見つからない Bean に関するアプリケーションエラー

LDD サーバー上で Lexmark ソリューションのアプリケーションサーバーのサービスを再起動します。

プロファイルサーバーが応答しない

LDD ロードバランサで Lexmark が提供する必要なサービスがすべて実行されていることを確認する

- LDD ロードバランサで、次の順に選択します。
 [設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]
- 2 以下のサービスが開始状態になっていることを確認します。
 - Firebird サーバー 標準設定インスタンス
 - Lexmark ソリューションのバックアップと復元エージェント

- Apache2
- Lexmark ソリューションの Apache エージェント
- Lexmark ソリューションの Web(またはプロトコル)
- アダプタ
- Lexmark ソリューションのライセンスマネージャ

Lexmark ソリューションのアプリケーションサーバーが実行されていることを確認する

LDD サーバー上で Lexmark ソリューションのアプリケーションサーバーのサービスを再起動します。

LMC を使用して新しいデバイスを追加できない

プリンタに十分なライセンスがあることを確認する

- 1 LMC で、[システム]タブをクリックし、[ライセンス]を選択します。
- 2 プリンタのライセンスがサーバーに追加されており、有効期限が切れていないかどうかを確認します。
 メモ: ライセンスをご購入でない場合や、ライセンスの有効期限が切れている場合は、Lexmark テクニカル
 プログラムマネージャにお問い合わせください。

何回かポリシー更新を試した後でも「ポリシー外」というエラーメッセージが表示される

グループ内のデバイス台数を許可するようにライセンスが設定されていない可能性があります。ライセンスを購入したプリンタの台数を確認するには、Lexmark テクニカルプログラムマネージャにお問い合わせください。

プリンタにバッジリーダーをインストールしようとすると「サポート されていないデバイス」というエラーメッセージが表示される

プリンタに適切なドライバがインストールされていることを確認する

必要なドライバがわからない場合は、環境内にある別の使用中のプリンタを確認するか、Lexmark ヘルプデスクにお問い合わせください。

バッジを読み取ろうとすると「バッジデータを読み取れません」というエラーメッセージが表示される

バッジリーダーの設定ファイルが正しいことを確認する

必要な設定ファイルがわからない場合は、環境内にある別の使用中のプリンタを確認するか、Lexmark ヘルプデスクにお問い合わせください。

ユーザーが送信した印刷ジョブが印刷キューに表示されない

次の手順を1つ以上実行します。

ユーザー資格情報が正しいことを確認する

印刷管理サーバー が LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、LDAP ユーザー名およびパスワードを使用します。

複数ドメインをサポートするように印刷管理サーバーが設定されている場合は、ドメインを選択してから、ユーザー名とパスワードを入力します。

Microsoft Windows オペレーティングシステム(OS)では、共有プリンタの Lexmark ユニバーサルプリントドライバがお使いのコンピュータにインストールされていて、ポートが印刷管理サーバーに設定されていることを確認する

詳細については、Lexmark ヘルプデスクにお問い合わせください。

Mac OS オペレーティングシステムソフトウェアでは、お使いのコンピュータにユニバーサルプリントドライバがインストールされていることを確認する

詳細については、Lexmark ヘルプデスクにお問い合わせください。

ドキュメント名とユーザー ID が正しいことと、印刷時にユーザーが別のユーザー ID を使ってログインしていないことを確認する

詳細については、「印刷キューと再印刷キュー」、16ページを参照してください。

バッジ ID が正しいユーザー ID に登録されていることを確認する

詳細については、「バッジ」、18ページを参照してください。

バッジを読み取ろうとするとエラーが発生する

バッジ ID が Print Management Console に登録されていることを確認する

(⇒「バッジ」、18 ページ)

プリンタを再起動する

カードリーダーで問題が発生している可能性があり、プリンタを再起動する必要があります。

トラブルシューティング 28

ページ数が正しくない

印刷ジョブのスプーリングが完了するまで、印刷ジョブが送信されないことを確認する

- 1 プリンタフォルダ内のプリンタを右クリックして、[プリンタのプロパティ]または[プロパティ]をクリックします。
- 2 [詳細]タブをクリックし、次のチェックボックスをオンにします。
 - 印刷ドキュメントをスプールして、プログラムの印刷処理速度を上げる。
 - 最後のページがスプールされてから印刷を開始する。
- 3 [OK]をクリックします。

メモ: Print Management の印刷枚数の記録は傾向を解析することだけを目的としており、課金のためではありません。

付録

Lexmark ヘルプデスクに問い合わせる

Lexmark ヘルプデスクに問い合わせる際は、速やかに問題を解決できるよう次の情報をお手元にご用意ください。

- 会社の暗証番号(提供されている場合)。
- お使いのプリンタが現在接続されている LDD のバージョン。
 - バージョンを確認する方法は次のとおりです。
 - 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスします。
 - 2 ページの上部にあるセクションで、[バージョン情報]をクリックします。
- 現在使用している Management Console ソリューションのバージョン。
 - バージョンを確認する方法は次のとおりです。
 - 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスします。
 - 2 [ソリューション]タブをクリックして、[ソリューション]セクションで[PrintReleasev2]を選択します。
 - 3 [タスク]セクションで、[概要]を選択し、バージョンのセクションを見つけます。

印刷管理のデータベースフィールドの概要

使用状況データのフィールド	説明			
ID	ジョブを参照するための一意の ID です。			
SITE	ジョブが送信される場所です。			
USERID*	ジョブを送信したユーザーの名前です。このデータはオペレーティングシステム(OS)のユーザー ID に一致します。			
SUBMITIP	ジョブが送信されるプリンタの IP アドレスです。			
PRINTJOBNAME	印刷ジョブの名前です。			
SUBMITDATE	印刷ジョブの送信日時です。			
FINALDATE	印刷ジョブの印刷日時です。			
FINALACTION*	ユーザーにより実行されたジョブです。 • Pー印刷ジョブが印刷されました。 • Dージョブが削除されました。 • Cーコピージョブが印刷されました。 • FーFAX ジョブが印刷されました。 • EーE メールジョブが印刷されました。 • TーFTP ジョブが印刷されました。 • Sースキャンジョブがネットワークへ印刷されました。			
FINALSITE	ジョブが印刷されたプリンタです。			
NUMPAGES	ジョブに含まれるページ数です。			
RELEASEIP	ジョブが印刷されるプリンタの IP アドレスです。			
# CF				

* 基本の印刷管理では、印刷と印刷ジョブの削除の追跡のみがサポートされます。このソリューションで他の標準のプリンタ機能を追跡するには、追跡オプションを購入し、認証を使用して機能にアクセスする必要があります。

使用状況データのフィールド	説明
RELEASEUSERID	ジョブを印刷したユーザーまたは代理人の名前です。
RELEASEMETHOD	ジョブがどのように追跡、印刷、または削除されたかを示します。 PRINT T-印刷管理キュー外で印刷ジョブが印刷されました。 P-印刷ジョブが印刷されました。
	W -Print Management Console から印刷ジョブが印刷されました。 D -印刷管理キューにより印刷ジョブが印刷されました。
	COPY T-Lexmark 管理コンソールからコピージョブが印刷されました。
	E-MAIL T-Lexmark 管理コンソールから E メールジョブが印刷されました。
	FAX T─Lexmark 管理コンソールから FAX ジョブが印刷されました。 S─プリンタの FAX 機能から FAX ジョブが印刷されました。 R─プリンタの FAX 機能から FAX ジョブが送信されました。
	FTP T -FTP により FTP ジョブが印刷されました。
	SCAN TO NETWORK T-スキャンジョブがネットワークへ送信されました。
	DELETE W-Print Management Console から印刷ジョブが削除されました。 U-プリンタから印刷ジョブが削除されました。 A-印刷ジョブがキューから自動的に削除されたか、または有効期限が切れました。
PRINTJOBCOLOR	ジョブがカラーで印刷されたかモノクロで印刷されたかを示します。 • Yージョブはカラーで印刷されました。 • Nージョブはモノクロで印刷されました。
PRINTJOBDUPLEX	ジョブが片面に印刷されたか両面に印刷されたかを示します。 • Yージョブは両面に印刷されました。 • Nージョブは片面に印刷されました。
PRINTJOBPAPERSIZE	印刷ジョブに使用された用紙サイズです。
RELEASEMODEL	印刷ジョブに使用されたプリンタのモデル名です。
RELEASEMODELTYPE	印刷ジョブに使用されたプリンタの種類です。
RELEASEHOSTNAME	ジョブが印刷されるプリンタの IP アドレスです。
DESTINATION	E メールジョブや FAX ジョブが送信される場所です。
PROFILE	ジョブを完了するために実行されたプロファイルを示します。
	削ジョブの削除の追跡のみがサポートされます。このソリューションで他の標準のプリンタ機 E購入し、認証を使用して機能にアクセスする必要があります。

使用状況データのフィールド	説明
CUSTOM1	定義された LDAP 属性の追加情報です。
CUSTOM2	
CUSTOM3	

^{*} 基本の印刷管理では、印刷と印刷ジョブの削除の追跡のみがサポートされます。このソリューションで他の標準のプリンタ機能を追跡するには、追跡オプションを購入し、認証を使用して機能にアクセスする必要があります。

ソリューション設定の索引

項目	ローカル設定	値	説明
サイト	√	<任意のテキスト文字列>	印刷ジョブに記録されたサイト名の記述子。この項目は、ユーザー の場所でソリューションが使用されている場合のみ使用されます。
ユーザー認証	✓	デバイスによる入力・ バッジ データベース検索のバッジ LDAP 検索のバッジ データベース検索の暗証 番号 LDAP 検索の暗証番号 ユーザー ID のみ ユーザー ID/パスワード カスタム	ユーザー ID の認証に使用される方法を指定します。 メモ: ・ バッジ認証 eSF または PKI/CAC アプリケーションがインストール、使用されている場合は、[デバイスによる入力]に設定します。 ・ バッジまたは PIN の値がデータベーステーブルに保存されている場合、データベース検索設定が使われます。 ・ Active Directory または LDAP は LDAP オプションに使用されます。 ・ [ユーザー ID のみ]と[ユーザー ID/パスワード]は、プリンタ操作パネルで資格情報を入力するようユーザーに求めます。 ・ [ユーザー定義]とはカスタム認証スクリプトのことです。
代替バッジログイン	✓	無効 ユーザー ID/パスワード [*] データベース検索の暗証 番号 LDAP 検索の暗証番号	バッジがメインのログインであり、ユーザーが資格情報を手動で入力できる認証方法です。 メモ: バッジ認証 eSF がインストールされている場合、この方法は使用できません。
新しい バッジューザーを 登録	х	無効 [*] 有効	入力を促す画面が表示されたら、LDAP 資格情報を入力してバッジを初回登録することをユーザーに許可します。 メモ: バッジ認証 eSF がインストールされている場合、この設定は使用できません。
バッジプロンプト	X	<任意のテキスト文字列> バッジをリーダーに通してく ださい [*]	ユーザーが資格情報を入力する前に、画面に表示されるメッセージです。 メモ: バッジ認証 eSF がインストールされている場合、この設定は使用できません。

*設定の標準値

項目	<u>п</u>	值	説明
	カル		
	設 定†		
タッチ画面 - すべてを	\	無効 [*]	[すべてを印刷]オプションを選択することをユーザーに許可します。
印刷		有効	メモ: この設定は、タッチ画面対応のプリンタのみに適用されます。
キーパッドのみ - ジョブ リリース	✓	ユーザーがリストから選択 ・ 全ジョブを印刷	認証後、印刷ジョブを参照して選択するか、すべての印刷ジョブを 印刷することをユーザーに許可するかどうかを指定します。
 キーパッドのみ - ユーザ	J	印刷のみ*	 印刷ジョブを選択して削除することをユーザーに許可します。
ーオプション*	V	印刷して削除	メモ : この設定は、タッチ画面対応でないプリンタのみに適用されます。
キーパッドのみ - すべて	1	無効 [*]	すべての印刷ジョブを選択することをユーザーに許可します。
を印刷	•	有効	メモ : この設定は、[キーパッドのみ - ジョブリリース]が [ユーザーがリストから選択] に設定されている、タッチ画面対応でないプリンタのみに適用されます。
ジョブの表示順序	X	印刷日(降順)* 印刷日(昇順)	印刷ジョブの表示が降順か昇順を指定します。
ジョブの印刷順序	X	印刷日(降順)* 印刷日(昇順)	リリースされた印刷ジョブの表示が降順か昇順を指定します。
印刷ジョブのディレクトリ	X	<任意のネットワークまたは ローカルパス>	印刷ジョブが保留または保存される場所。
 印刷ジョブディレクトリの ユーザー名	X	c: \lexmark\printrelease* <任意のテキスト文字列>	 印刷ジョブのディレクトリで指定したディレクトリに対して、読み取り 権限と書み込み権限を持つユーザーの名前。
			メモ : ドメインアカウントが使用される場合、ユーザー名は <ドメイン ; ユーザー名> として記述されます。
印刷ジョブディレクトリの パスワード	X	<任意のテキスト文字列>	印刷ジョブのディレクトリで指定したディレクトリに対して、読み取り 権限と書み込み権限を持つユーザーに割り当てられたパスワード。
暗号化された印刷ジョブ のディレクトリ	X	<任意のネットワークまたは ローカルパス>	暗号化された印刷ジョブが保存される場所。管理者は、PrintCryption またはスマートカードを使用して印刷ジョブを暗号化します。
		c: \lexmark\printrelease*	
ジョブ暗号化方式	X	デバイス証明書 [*] ユーザー証明書	ジョブがリリースされる前に、暗号化された印刷ジョブを解読するのに使用される証明書を示します。
			PrintCryption が使われる場合、[デバイス証明書]を選択します。 The Tryption が使われる場合、「デバイス証明書]を選択します。
			● スマートカードが使われる場合、[ユーザー証明書]を選択します。
指定した時間の後にま だ印刷されていないジョ ブを削除	X	1-168 10 [*]	印刷ジョブが削除されるまでの待機時間を示します。

*設定の標準値

項目	<u>п</u>	値	説明
	カ ル 設 定†		
指定した時間の後に印刷済みジョブを削除	x	1-24 0*	再印刷を行うためにリリース、保留されたジョブが削除されるまでの プリンタの待機時間を示します。 メモ: ・ 1 ~ 24 の任意の値は再印刷を有効にします。 ・ 0 は再印刷を無効にします。
機能アクセス	X	無効 [*] ユーザー ID 別 グループ別	ユーザーまたはグループが、特定のプリンタ機能にアクセスしたか どうかを特定します。
ユーザーの数量制限	X	無効 [*] ユーザー ID 別 グループ別	印刷ジョブとコピージョブに対してユーザーまたはグループに設定される数量制限を指定します。
数量制限期間	X	毎月 [*] 年ごと	数量制限の単位は、月単位か年単位かを指定します。
標準設定のユーザーの 数量制限合計	X	<任意の正の整数値> 0 [*]	ユーザーに許可される印刷またはコピーの初回枚数を示します。
標準設定のユーザーの カラー数量制限	X	<任意の正の整数値> 0*	ユーザーに許可されるカラー印刷またはカラーコピーの初回枚数を 示します。
標準設定のユーザーの カラー許可	X	はい [*] いいえ	カラー印刷をユーザーに許可するかどうかを示します。
グループメンバーの数 量制限	X	グループ別 [*] ユーザー別	管理者が数量制限を個々のユーザーに適用するか、グループ内のすべてのユーザーに適用するかを指定します。 メモ: この設定が適用されるのは、ユーザーの数量制限が [グループ別]に設定されている場合だけです。
コピー数量制限の残高 を表示	X	表示しない [*] コピージョブの前 コピージョブの後	コピー回数上限の残りをユーザーに通知するかどうかを指定します。
数量制限をリセット	X	すべての合計をリセット* 全ユーザーを削除	数量制限をリセットするか、数量制限テーブルからユーザーを削除するかを指定します。 メモ: この設定を使用できるのは、ResetQuotas スクリプトが設定されている場合のみです。
数量制限の超過量	X	無効・有効	ユーザーは、割り当てられた印刷およびコピーの数量制限を超過することができます。
代替のリリース場所	X	無効 [*] 有効	ジョブを別のプリンタにリリースすることをユーザーに許可するかどうかを指定します。

* 設定の標準値

項目	<u>п</u>	値	説明
	カ ル 設 定†		
Unix/Novell からの印 刷を有効にする	X	はいいえ゛	UNIX、Linux、OS X、または Micro Focus(以前の Novell)オペレーティングシステム環境で、印刷キューからリリースされた受信ジョブの高度な処理を、ユーザーが実行できるかどうかを指定します。
LDAP 複数ドメインのサポート	X	無効 [*] 有効	デバイスは、複数のドメイン設定を受け入れることができます。また、異なるドメインの異なるユーザーがこのデバイスを使用できます。
LDAP サーバー	X	<任意のテキスト文字列>	認証に使用される LDAP サーバー。
LDAP ポート	X	389 [*] 636 3268 3269	 LDAP サーバーで使用されるポートを示します。 標準 LDAP ポートは 389 です。 SSL を使用する標準 LDAP ポートは 636 です。 グローバルカタログは 3268 です。 SSL を使用するグローバルカタログは 3269 です。
LDAP で SSL を使用	X	はいいえ゛	LDAP の照会時に印刷管理で SSL を使用するかどうかを示します。
LDAP ログインのユー ザー名	X	<任意の文字列>	LDAP サーバーへのログイン時に使用されるユーザー ID。
LDAP ログインパスワ ード	X	<任意の文字列>	LDAP サーバーへのログイン時に使用されるパスワード。
LDAP ユーザー ID のタ イプ	X	プリンシパル名 [*] 識別名	LDAP ログイン資格情報に使用されるユーザー ID の形式。
LDAP プリンシパルドメ イン	X	<任意のテキスト文字列>	LDAP で使用されるドメイン名を指定します。 メモ: [LDAP ユーザー ID のタイプ]が[プリンシパル名]に設定されている場合に、このドメイン名が使用されます。
LDAP 検索ベース	√	<任意のテキスト文字列>	LDAP の照会で使用される LDAP 検索ベース。
LDAP で高度な設定ファイルを使用	X	はい いいえ*	高度な設定ファイルを使用するのに LDAP システムで LDD が必要かどうかを指定します。
LDAP ユーザー ID 属性	X	<任意のテキスト文字列>	ユーザー ID が含まれた LDAP フィールドの名前。
LDAP バッジ ID 属性	X	<任意のテキスト文字列>	バッジ番号が含まれた LDAP フィールドの名前。 メモ: [ユーザー認証]が[LDAP 検索のバッジ]に設定されている 場合に、この設定が必要になります。
LDAP 暗証番号 ID 属性	X	<任意のテキスト文字列>	PIN 番号が含まれた LDAP フィールドの名前。 メモ: [ユーザー認証]が[LDAP 検索の PIN]に設定されている場合に、この設定が必要になります。
LDAP E メール属性	X	<任意のテキスト文字列> メール [*]	ユーザーの E メールアドレスが含まれた LDAP フィールドの名前。 メモ: 高度な E メール機能のいずれかが使用される場合に、この設 定が必要になります。

*設定の標準値

[†]ローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能な項目

LDAP ホームディレクト	ッン]プロ が必要に 場合に
リ属性 ホームディレクトリ* メモ: ユーザーのホームディレクトリで[ネットワークへスキャファイルと保存先設定が設定されている場合に、この設定がなります。 LDAP ユーザー定義属性 2 X <任意のテキスト文字列> 記録された使用状況データ内に追加の LDAP 属性があるのみ使用されます。 LDAP ユーザー定義属性 3 コピー・コピー画面に X はい コピージョブが完了した後に、プリンタのコピーホーム画面にます。	ッン]プロ が必要に 場合に
性 1 LDAP ユーザー定義属性 2 LDAP ユーザー定義属性 3 コピー - コピー画面に X はい コピージョブが完了した後に、プリンタのコピーホーム画面に T	
性 3 コピー・コピー画面に X はい コピージョブが完了した後に、プリンタのコピーホーム画面	こ戻るこ
= 7	に戻るこ
戻る しいいえ* とをユーザーに計可するかどつかを指定しよす。	
コピー - 警告のしきい値 X 0 ~ 999 コピージョブがリリースされた後に、ユーザーの確認が必要枚数を示します。 メモ: ・ 工場出荷時は[999]に設定されています。 ・ 0 はこの機能を無効にします。	なコピー
コピー - コピーセンター X <任意の整数> 1 回のコピージョブで許可されるページ数を指定します。 メモ: ・ ページ数が最大数を超えている場合、コピーセンターを るようにユーザーに通知するプロンプトが表示されます ジョブを続行することはできません。 ・ 出荷時の標準設定は[0]です。	
コピーセンターのエラー X <任意のテキスト文字列> このジョブは大きすぎてこのデバイスで処理できません。コピーセンターに送信する必要があります。*	
E メール - 送信元 X LDAP* プリンタから E メールを送信するときに使用する E メールでを示します。 デバイス メモ: • LDAP とデータベースでは、ユーザーの E メールアドし用されます。 • デバイスでは、プリンタの E メール設定で設定されてしールアドレスが使用されます。	_ン スが使
E メール - ユーザーは 自分にしか送信できません X はい ユーザーが E メールを自分宛に送信するか、他の E メールス宛に送信するかを指定します。	ルアドレ

*設定の標準値

項目	ローカ	値	説明
	ル 設 定†		
E メール - ユーザーにコ ピーを送信	Х	はい゛いいえ	リリースされた E メールジョブのコピーをユーザーが受け取るかど うかを指定します。
Eメール - 宛先を追跡	X	はい いいえ [*]	E メールジョブが完了した後に、[宛先]フィールド内の E メールアドレスを記録するかどうかを指定します。
E メール - 次を経由して 送信	X	MFP* サーバー	ユーザーが E メールをプリンタから送信するか、LDD サーバーから送信するかを指定します。
Eメール - Eメール画面 に戻る	X	はい いいえ*	E メールジョブが完了した後に、プリンタの E メールホーム画面に 戻ることをユーザーに許可するかどうかを指定します。
E メール - 添付ファイル の最大サイズ	х	<任意の整数>	ユーザーが E メールに添付できる最大ファイル サイズ (MB)を指定します。
			 ▶モ: 出荷時の標準設定は[0]です。工場出荷時の設定を使用すると、添付ファイルのチェックが無効になります。 ファイルのサイズが上限を超えると、ユーザーは E メールジョー
E メール - 最大サイズ のエラーメッセージ	x	<任意のテキスト文字列> 添付ファイルのサイズが、 お使いの E メールシステム で許容されているサイズの 上限を超過しています。 E メールを送信できません。	ブを続行できなくなります。 ファイルのサイズが、[E メール - 添付ファイルの最大サイズ]で設定されているサイズの上限を超えたときに表示されるエラーメッセージです。
FAX - 宛先を追跡	X	はい いいえ*	FAX ジョブが完了した後、プリンタで送信先の FAX 番号を記録するかどうかを指定します。
ネットワークへスキャン-保存先	x	ユーザーのホームディレク トリ・ ファイル共有 ファイル共有 + ユーザー ID ファイル共有 + LDAP 属性 データベース検索	スキャンしてネットワークに送信するときに、保存先パスのタイプを指定します。
ネットワークへスキャン - ファイル共有	√	<任意のネットワークまたは ローカルパス>	[ネットワークへスキャン - 宛先]で設定されたファイル共有オプションのいずれかの保存先パスを指定します。
ネットワークへスキャン - サブフォルダ	Х	<任意のテキスト文字列>	ネットワーク送信先のサブフォルダを指定します。
ネットワークへスキャン - ディレクトリを作成	X	いいえ [*] はい - 作成のみ はい - 権限の作成と設定	ユーザーによって設定されるネットワークの保存先パスが存在しない場合、プリンタで自動的にディレクトリを作成するかどうかを指定します。

*設定の標準値

<u>付録</u> 37

項目	<u>п</u>	値	説明
	カ ル 設 定†		
ネットワークへスキャン - 認証	X	ユーザーのサービスアカウ ント・ ユーザーにパスワードの入 カを要求する	スキャンしてネットワークに送信する場合に、プリンタの認証タイプを指定せします。
ネットワークへスキャン - ドメイン	X	<任意のテキスト文字列>	スキャンしてネットワークに送信するときに使用されるネットワークド メインを指定します。
ネットワークへスキャン - ユーザー ID	х	<任意のテキスト文字列>	ネットワークにジョブを送信したユーザーの名前を指定します。 メモ: この設定が適用されるのは、[ネットワークへスキャン - 認証] が[ユーザーのサービスアカウント]に設定されている場合のみです。
ネットワークへスキャン - パスワード	x	<任意のテキスト文字列>	ネットワークにジョブを送信したユーザーに割り当てられたパスワードを指定します。 メモ: この設定が適用されるのは、「ネットワークへスキャン - 認証」
ネットワークへスキャン - 標準設定のファイル名	X	<任意のテキスト文字列> スキャン・	が[ユーザーのサービスアカウント]に設定されている場合のみです。 ネットワークに送信されたドキュメントの名前を指定します。
ネットワークへスキャン - タイムスタンプを追加	Х	はい [*] いいえ	ネットワーク送信時にドキュメントに追加された日時を指定します。
ネットワークへスキャン - さらにスキャンするか どうか尋ねる	х	はいいえ゛	ネットワークへスキャンジョブを完了した後、もう一度スキャンすることを選択するかどうかを指定します。 メモ: [ネットワークへスキャン]ホーム画面に戻るには、[いいえ]を 選択します。
デバイスのホスト名を 記録	X	はい [*] いいえ	プリンタのホスト名や IP アドレスを使用状況データと一緒に記録するかどうかを指定します。
印刷 - ページ数の確認 (両面印刷)	X	無効 有効 [*]	用紙の両面印刷ジョブの詳細チェックを実行するプリンタを記録するかどうかを指定します。
ファイル印刷の操作	X	標準の方法を使用 [*] 代替の方法を使用	プリンタでファイルを保存する際に標準の方法を使用するか、代替 の方法を使用するかを指定します。
印刷の統計情報にデバ イス使用量を使用	X	はいいえ゛	プリンタで印刷ジョブを記録するかどうかを指定します。 メモ : LDD が印刷ジョブを使用状況データに記録しないようにする には、この設定を [はい] に設定します。
デバイス使用量にサー バー時刻を使用	Х	はい いいえ*	プリンタの時刻を使用状況データに使用するかどうかを指定します。 メモ: LDD サーバーの時刻を使用状況データに記録するには、こ の設定を[いいえ]に設定します。
ジョブの区切り	√	無効 [*] 有効	プリンタで、ページの間に用紙を 1 枚挟むかどうかを指定します。

* 設定の標準値

†ローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能な項目

項目	П	值	説明
	ーカル設定†		
印刷のステータスを 表示	Х	無効有効*	ジョブの印刷時に、ステータスメッセージが画面に表示されます。
*設定の標準値 †ローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能な項目			

標準レポートの概要

デバイス別の使用状況(PR_DeviceUsageReport.jasper)

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	ジョブを印刷したプリンタの IP アドレス
シリアル番号	ジョブを印刷したプリンタのシリアル番号
出力量(合計)	印刷された印刷ジョブとコピージョブの総数
印刷(合計)	印刷された印刷ジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数
コピー	印刷されたコピージョブの総数
Eメール	印刷された E メールジョブの総数
FAX	印刷された FAX ジョブの総数
スキャン	ネットワークに送信されたジョブの総数
FTP	FTP アドレスに送信されたジョブの総数

デバイスのホスト名別の使用状況 (PR_DeviceUsageReport_Hostname.Jasper)

メモ: ホスト名は DNS 照会を使用して取得されます。 DNS でホスト名が設定されていない場合は、代わりに IP アドレスが使用されます。

レポートのフィールド	説明
デバイス名	ジョブをリリースしたプリンタ名
出力量(合計)	リリースされた印刷ジョブとコピージョブの総数
印刷(合計)	印刷したジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数

レポートのフィールド	説明
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数
コピー	リリースされたコピージョブの総数
Eメール	リリースされた E メールジョブの総数
FAX	リリースされた FAX ジョブの総数
スキャン	ネットワークに送信されたジョブの総数
FTP	FTP アドレスに送信されたジョブの総数

デバイスの IP アドレスとモデル名別の使用状況 (PR_DeviceUsageReport_IPModel.jasper)

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	ジョブを印刷したプリンタの IP アドレス
シリアル番号	ジョブを印刷したプリンタのシリアル番号
[モデル]	ジョブを印刷したプリンタのモデル名
出力量(合計)	印刷された印刷ジョブとコピージョブの総数
印刷(合計)	印刷された印刷ジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数
コピー	印刷されたコピージョブの総数
Eメール	印刷された E メールジョブの総数
FAX	印刷された FAX ジョブの総数
スキャン	ネットワークに送信されたジョブの総数
FTP	FTP アドレスに送信されたジョブの総数

デバイスの IP アドレス、モデル名、モデルタイプ別の使用状況 (PR_DeviceUsageReport_IPModelType.jasper)

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	ジョブを印刷したプリンタの IP アドレス
シリアル番号	ジョブを印刷したプリンタのシリアル番号
[モデル]	ジョブを印刷したプリンタのモデル名
出力量(合計)	印刷された印刷ジョブとコピージョブの総数
印刷(合計)	印刷された印刷ジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数

レポートのフィールド	説明
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数
コピー	印刷されたコピージョブの総数
Eメール	印刷された Eメールジョブの総数
FAX	印刷された FAX ジョブの総数
スキャン	ネットワークに送信されたジョブの総数
FTP	FTP アドレスに送信されたジョブの総数

デバイス別の詳細印刷レポート(PR_detailPrintReportByDevice.jasper)

グループヘッダー		
ユーザー	印刷ジョブを印刷したユーザーの名前	
印刷の合計数	印刷されたページの総数	

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	印刷ジョブを印刷したプリンタの IP アドレス
シリアル番号	ジョブを印刷したプリンタのシリアル番号
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	印刷された印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	印刷ジョブが印刷された時点で指定された用紙のサイズ

ユーザー別の詳細印刷レポート(PR_DetailPrintReportByUser.jasper)

グループヘッダー		
ユーザー	印刷ジョブをリリースしたユーザーの名前	
印刷の合計数	印刷されたページの総数	

レポートのフィールド	説明
アドレス	印刷ジョブをリリースしたプリンタの IP アドレス
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面印刷	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	印刷ジョブがリリースされた時点で指定された用紙のサイズ

ホスト名別の詳細印刷レポート (PR_detailPrintReportByUser_Hostname.jasper)

グループヘッダー		
ユーザー	ジョブをリリースしたユーザーの名前	
印刷の合計数	印刷されたページの総数	

レポートのフィールド	説明
ホスト名	ジョブをリリースしたプリンタのホスト名
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面印刷	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	ジョブがリリースされた時点で指定された用紙のサイズ

プリンタの IP アドレス、モデル名、モデルタイプ別の詳細印刷レポート (PR_detailPrintReportByUser_ IPMMT.jasper)

グループヘッダー		
ユーザー	印刷ジョブを印刷したユーザーの名前	
印刷の合計数	印刷されたページの総数	

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	印刷ジョブを印刷したプリンタの IP アドレス
シリアル番号	印刷ジョブを印刷したプリンタのシリアル番号
[モデル]	印刷ジョブを印刷したプリンタのモデル名
モデルタイプ	印刷ジョブを印刷したプリンタのモデルタイプ
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	印刷された印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	印刷ジョブが印刷された時点で指定された用紙のサイズ

プリンタの IP アドレスとモデルタイプ別の詳細印刷レポート (PR_detailPrintReportByUser_ IPModelType.jasper)

グループヘッダー	
ユーザー	印刷ジョブを印刷したユーザーの名前
印刷の合計数	印刷されたページの総数

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	印刷ジョブを印刷したプリンタの IP アドレス
シリアル番号	印刷ジョブを印刷したプリンタのシリアル番号
モデルタイプ	印刷ジョブを印刷したプリンタのモデルタイプ
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	印刷された印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	印刷ジョブが印刷された時点で指定された用紙のサイズ

ユーザー別のカラーまたはモノクロ印刷レポート(PR_ColorMonoByUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	印刷ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数

ユーザー定義 1 フィールドで定義される使用状況レポート (PR_[custom1]UsageReport.jasper)

グループヘッダー

ユーザー定義 1 LDAP データベースのグループユーザーの属性として定義される変数名

レポートのフィールド	説明
ユーザー	ジョブをリリースしたユーザーの名前
コピー	リリースされたコピージョブの総数
Eメール	リリースされた E メールジョブの総数
FAX	リリースされた FAX ジョブの総数
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数

ユーザー別の片面または両面印刷レポート(PR_simplexDuplexByUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数

レポートのフィールド	説明
印刷(片面)	用紙の片面に印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数

印刷枚数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20PRINTUser.jasper または PR_bottom20PRINTUser.jasper)

レポートのフィールド	説明	
ユーザー	印刷ジョブを所有しているユーザーの名前	
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数	
合計に占める割合	すべてのユーザーがリリースした印刷ジョブの総数のうち特定のユーザーがリリースした印刷ジョブのとめる割合	

コピー枚数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20COPYUser.jasper or PR_ bottom20COPYUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	コピージョブをリリースしたユーザーの名前
ページカウント(合計)	ユーザーがリリースしたコピージョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがリリースしたコピージョブの総数のうち特定のユーザーがリリースしたコピージョブ の占める割合

E メール数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20EMAILUser.jasper or PR_bottom20EMAILUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	Eメールジョブをリリースしたユーザーの名前
ページカウント(合計)	ユーザーがリリースした E メールジョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがリリースした E メールジョブの総数のうち特定のユーザーがリリースした E メールジョブの占める割合

ネットワークスキャン数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20SCANUser.jasper or PR_ bottom20SCANUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	スキャンジョブをネットワークに送信したユーザーの名前
ページカウント(合計)	ユーザーがネットワークに送信したスキャンジョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがネットワークに送信したスキャンジョブの総数のうち特定のユーザーがネットワークに送信したスキャンジョブの占める割合

FAX 枚数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート(PR_top20FAXUser.jasper or PR_ bottom20FAXUser.jasper)

44

レポートのフィールド	説明
ユーザー	FAX ジョブをリリースしたユーザーの名前
ページカウント(合計)	ユーザーがリリースした FAX ジョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがリリースした FAX ジョブの総数のうち特定のユーザーがリリースした FAX ジョブの占める割合

ユーザー別の削除済みページレポート(PR_pageDeletedByUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	ジョブを削除したユーザーの名前
ページカウント(合計)	削除されたすべてのジョブの総数
ユーザー削除	ユーザーが削除したジョブの総数
システム削除	システムが自動的に削除したジョブの総数
合計に占める割合	削除されたすべてのジョブの総数のうちユーザーやシステムが削除したジョブの占める割合

付録

免責

2018年12月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、http://support.lexmark.comにアクセスしてください。

本製品の使用に関する Lexmark のプライバシーポリシーの詳細については、<u>www.lexmark.com/privacy</u> にアクセスしてください。

消耗品およびダウンロードについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

© 2013 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

ActiveX、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Active Directory は、米国およびその他の国々における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Adobe Flash Player は、米国およびその他の国々における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

AirPrint および AirPrint のロゴは Apple, Inc. の商標です。

索引 46

索引

カードレイアウトを変更する 14 アルファベット あ行 カードを配置する 14 AirPrint 設定を管理する 12 アクセス カラー印刷レポート、ユーザー別 AirPrint の設定 Lexmark 管理コンソール 6 標準レポートの概要 42 管理 12 アプリケーション 機能アクセス Eメールレポート 展開 8 使用 18 アプリケーション設定 管理 12 削除 18 Eメールレポートを管理する 12 設定 6 追加 18 LDAP 設定を管理する 12 アプリケーションを展開する 編集 18 LDAP 認証 UCF を使用する 8 機能アクセスを削除する 18 設定 12 暗証番号 機能アクセスを使用する 18 LDAP 認証を設定する 12 削除 17 機能アクセスを追加する 18 LDAP の設定 使用 17 機能アクセスを編集する 18 管理 12 追加 17 クリーンアップタスク Lexmark 管理コンソール 編集 17 スケジュール 9 アクセス 6 一時バッジ クリーンアップタスクの定期設定 9 Lexmark 管理コンソール認証 追加 18 グループアクセス 設定 12 一時バッジを追加する 18 プリンタ機能へのアクセスを許可 Lexmark 管理コンソール認証を設 印刷監視デバイス する 18 定する 12 使用 21 グループポリシーを許可する 20 Lexmark ヘルプデスクに問い合わ 印刷監視デバイスを使用する 21 検出 せる 29 印刷管理のデータベースフィール チャンクサイズを設定する 9 LMC を使用して新しいデバイスを ド 追加できない 理解 29 さ行 トラブルシューティング 26 印刷管理のデータベースフィールド 再印刷キュー PIN の設定 の概要 29 印刷キュー 使用 16 設定 17 使用 16 再印刷キューを使用する 16 PIN を削除する 17 サイト PIN を使用する 17 印刷キューを使用する 16 PIN を設定する 17 印刷ジョブ 管理 21 PIN を追加する 17 委任 16 削除 21 追加 21 PIN を編集する 17 印刷 16 **Print Management Console** 管理 16 編集 21 サイトを管理する 21 アクセス 12 削除 16 サイトを削除する 21 印刷ジョブの印刷 16 設定 12 印刷ジョブを委任する 16 サイトを追加する 21 Print Management Console にア サイトを編集する 21 印刷ジョブを管理する 16 クセスする 12 削除済みページレポート、ユーザ Print Management Console を使 印刷ジョブを削除する 16 用してレポートをエクスポートす お使いの環境用のアプリケーション る 24 標準レポートの概要 44 を設定する 6 サーバーステータス Print Management Console を使 変更 6 用してレポートを生成する 24 か行 サーバーのステータスを変更す Print Management Console を設 概要 4 る 6 定する 12 片面印刷レポート、ユーザー別 詳細印刷レポート、IPアドレス別 **UCF** 標準レポートの概要 42 アプリケーションを使用して展 標準レポートの概要 41 カード 詳細印刷レポート、デバイス別 配置 14 標準レポートの概要 40 Web ポータルにログインできな カードレイアウト い 25

変更 14

索引____

詳細印刷レポート、ホスト名別	代理人を追加する 16	プリンタにバッジリーダーをインス
標準レポートの概要 41	代理人を編集する 16	トールしようとすると「サポートさ
詳細印刷レポート、モデルタイプ別	ダッシュボード	れていないデバイス」というエラ
標準レポートの概要 41	コピー 14	ーメッセージが表示される 26
詳細印刷レポート、モデル名別	削除 14	プロファイルサーバーが応答しな
標準レポートの概要 41	作成 14	l 25
詳細印刷レポート、ユーザー別	使用 14	ページ数が正しくない 28
標準レポートの概要 40	編集 14	ホーム画面で Bean が見つから
		ホーム画面で Bean が見りがら ない 25
使用状況、デバイスの IP アドレス	ダッシュボードをコピーする 14	- · · · · ·
別	ダッシュボードを削除する 14	ユーザーが送信した印刷ジョブが
標準レポートの概要 39	ダッシュボードを作成する 14	印刷キューに表示されない 27
使用状況、デバイスのホスト名別	ダッシュボードを使用する 14	ユーザーが見つからない 25
標準レポートの概要 38	ダッシュボードを編集する 14	
使用状況、デバイスのモデルタイプ	チャンクサイズ	な行
別	設定 9	何回かポリシー更新を試した後で
標準レポートの概要 39	デバイスグループ	も「ポリシー外」というエラーメッセ
使用状況、デバイスのモデル名別	プリンタを追加する 7	-
標準レポートの概要 39	デバイスグループにプリンタを追加	一ジが表示される
使用状況、デバイス別	する 7	トラブルシューティング 26
標準レポートの概要 38	デバイス検索とポリシー更新用に	
使用状況レポート、ユーザー定義	チャンクサイズを設定する 9	は行
	トップ 20 ユーザーレポート、E メー	パスワード設定 12
1フィールドで定義される		パスワードを設定する 12
標準レポートの概要 42	ル数別	バッジ
数量制限	標準レポートの概要 43	・・・・ 使用 18
使用 19	トップ 20 ユーザーレポート、FAX	削除 18
削除 19	枚数別	追加 18
追加 19	標準レポートの概要 44	<u> </u>
編集 19	トップ 20 ユーザーレポート、印刷	Mist TO バッジの読み取り時に発生するエ
数量制限の設定	枚数別	
設定 19	標準レポートの概要 43	ラー - エニブルミュー <i>ニ・</i> なっだ 07
数量制限を削除する 19	トップ 20 ユーザーレポート、コピー	トラブルシューティング 27
数量制限を使用する 19	枚数別	バッジ列
数量制限を設定する 19	標準レポートの概要 43	設定 18
数量制限を追加する 19	トップ 20 ユーザーレポート、ネット	バッジ列を設定する 18
数量制限を編集する 19	ワークスキャン数別	バッジを削除する 18
その他の機能	標準レポートの概要 43	バッジを使用する 18
表示 12	トラブルシューティング	バッジを追加する 18
その他の機能の表示 12	LMC を使用して新しいデバイス	バッジを編集する 18
ソリューション設定、索引 31	を追加できない 26	バッジを読み取ろうとすると「バッジ
ソリューションのテスト 22	Web ポータルにログインできな	データを読み取れません」というエ
)	い 25	ラーメッセージが表示される
+_ ⁄二	何回かポリシー更新を試した後で	トラブルシューティング 26
た行	も「ポリシー外」というエラーメッ	パフォーマンスを向上させる
代替の場所	セージが表示される 26	チャンクサイズを設定する 9
使用 21		標準レポートの概要
代替の場所を使用する 21	バッジの読み取り時に発生するエ	片面印刷レポート、ユーザー
代理人	ラー 27	別 42
使用 16	バッジを読み取ろうとすると「バッ	カラー印刷レポート、ユーザー
削除 16	ジデータを読み取れません」とい	別 42
追加 16	うエラーメッセージが表示され	削除済みページレポート、ユーザ
編集 16	る 26	一別 44
代理人を削除する 16	ファームウェアエラー	— / /リ ササ
代理人を使用する 16	[9yy.xx] 25	

索引 48

詳細印刷レポート、IP アドレス 別 41 詳細印刷レポート、デバイス 別 40 詳細印刷レポート、ホスト名 別 41 詳細印刷レポート、モデルタイプ 別 41 詳細印刷レポート、モデル名 別 41 詳細印刷レポート、ユーザー 別 40 使用状況、デバイスの IP アドレ ス別 39 使用状況、デバイスのホスト名 別 38 使用状況、デバイスのモデルタイ ブ別 39 使用状況、デバイスのモデル名 別 39 使用状況、デバイス別 38 使用状況レポート、ユーザー定義 1フィールドで定義される 42 トップ 20 ユーザーレポート、Eメ ール数別 43 トップ 20 ユーザーレポート、FAX 枚数別 44 トップ 20 ユーザーレポート、コピ 一枚数別 43 トップ 20 ユーザーレポート、ネッ トワークスキャン数別 43 ボトム 20 ユーザーレポート、Eメ ール数別 43 ボトム 20 ユーザーレポート、FAX 枚数別 44 ボトム 20 ユーザーレポート、コピ 一枚数別 43 ボトム 20 ユーザーレポート、ネッ トワークスキャン数別 43 モノクロ印刷レポート、ユーザー 別 42 両面印刷レポート、ユーザー 別 42 トップ 20 ユーザーレポート、印刷 枚数別 43 ボトム 20 ユーザーレポート、印 刷枚数別 43 ファームウェアエラー [9yy.xx] 25 複数ドメインのサポート セットアップ 10 複数ドメインのサポートを設定す る 10

プリンタ 管理 22 削除 21,22 追加 21,22 デバイスグループに追加する 7 編集 21,22 プリンタ機能へのグループアクセス を許可する 18 プリンタにアプリケーションを展開 する 8 プリンタにバッジリーダーをインスト ールしようとすると「サポートされて いないデバイス」というエラーメッセ 一ジが表示される トラブルシューティング 26 プリンタのニックネーム 使用 22 プリンタのニックネームを使用す る 22 プリンタを管理する 22 プリンタを削除する 21,22 プリンタを追加する 21,22 プリンタを編集する 21,22 プロファイルサーバーが応答しな い トラブルシューティング 25 ページ数が正しくない トラブルシューティング 28 ボトム 20 ユーザーレポート、Eメ 一ル数別 標準レポートの概要 43 ボトム 20 ユーザーレポート、FAX 枚数別 標準レポートの概要 44 ボトム 20 ユーザーレポート、印刷 枚数別 標準レポートの概要 43 ボトム 20 ユーザーレポート、コピ 一枚数別 標準レポートの概要 43 ボトム 20 ユーザーレポート、ネット ワークスキャン数別 標準レポートの概要 43 ホーム画面 設定 7 ホーム画面で Bean が見つからな い 25 ホーム画面を設定する 7 ポリシー 使用 20 コピー 20 追加 20

編集 20 ポリシー更新 チャンクサイズを設定する 9 ポリシーをコピーする 20 ポリシーを使用する 20 ポリシーを追加する 20 ポリシーを編集する 20

ま行

モノクロ印刷レポート、ユーザー別 標準レポートの概要 42

や行

ユーザーが送信した印刷ジョブが 印刷キューに表示されない トラブルシューティング 27 ユーザーが見つからない 25

ら行

両面印刷レポート、ユーザー別 標準レポートの概要 42 レポート Print Management Console を 使用してエクスポートする 24 Print Management Console を 使用して生成する 24 スケジュール 23 生成 23 理解 15 レポートの定期設定 23 レポートを生成する 23 レポートを理解する 15